

令和元年8月22日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和元年8月22日(木)
午後1時30分

- 2 閉会の日時 令和元年8月22日(木)
午後1時45分

- 3 招集の場所 福知山市役所6階 601会議室

- 4 出席委員の氏名 端野 学
倉橋 徳彦
塩見 佳扶子
和田 大顕
大槻 豊子

- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教育部長 前田 剛
教育委員会事務局理事 森山 真
教育総務課長 牧 正博
教育総務課担当課長 貴田 直子
次長兼学校教育課長 崎山 正人
学校教育課担当課長兼教育総務課 伊豆 英一
学校教育課担当課長 土家 邦子
学校教育課総括指導主事 井上 雅道
学校教育課指導主事 加藤 由美
学校給食センター所長 村瀬 勝子
生涯学習課長兼中央公民館長 八瀬 正雄
図書館長 浅田 久子

- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
教育総務課長 牧 正博

7 議事及び議題

別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

なし

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長.....

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

教育委員会会議録調製者 教育部長.....

教育委員会会議録

1 開会

端野教育長が開会を宣告。

端野教育長 次に、現在のところはありませんが、傍聴人から傍聴の申請がありましたら許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 許可をさせていただきます。

2 前回会議録の承認

端野教育長 前回の会議録については、異議ありませんでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 それでは、異議がなければ承認をお願いします。
あとで会議録に署名をお願いしたいと思います。

3 教育長報告の要旨

端野教育長から以下の報告がありました。

(1) 令和元年度セルフスタディサポート事業について（別紙一覧）

1点目については、中丹地教委連の会合の会計報告等でありました、令和元年度セルフスタディサポート事業についてということで、別紙一覧2枚をつけております。令和元年度事業の予算については、例年より少し豊かですので、このセルフスタディサポート事業へというお話がありまして、実際にその対象グループが、本年度このような形でスタートをしたということでもあります。

右下に3市の小・中学校別の人数が書かれておりますが、福知山市については、小学校21人、中学校2人となっています。主には、グループ一覧表の左から五つ目、家庭科の研究ということで、そのメンバーについては、2枚目の支援対象グループ一覧にあります。このような先生方が所属をし、グループ研の中で研究を進めるという要綱になっています。

具体的な予算措置については、まだわかりませんが、このような形で中丹管内のグループ研が研究を進めるということになりましたので、記載をさせていただきます。

(2) 夏休み中の「放課後児童クラブ」の状況（別紙）

ア 登録児童数	常時	1,026名	
	長期	467名	計1,493名（36%）
イ 指導員数	常時	150名	
	長期のみ	127名	

ウ 安全な見守りができるだけの指導員確保が困難

学校との連携

プール使用期間

保護者との連携、信頼関係の構築

居住スペースが狭く、居室の確保

2点目については、夏休み中の放課後児童クラブの状況についてですが、夏期期間の児童

クラブ登録児童数及び指導員数の一覧を御覧ください。

惇明から佐賀まで、各クラブありますが、惇明から大江までの12クラブは、市直営ということで、臨時職員を雇用しての運営となります。上豊富は、地元保育園に委託ということで、委託運営となります。天津から佐賀までの4クラブは、地元の運営団体に補助金を交付して運営する地元運営となります。こういった形で、3種類のクラブがあるわけですが、それぞれ、夏休み登録児童数と指導員数の合計数等を一覧にしております。

御覧いただいたとおり、クラブごとに人数は違うわけですが、多いところで200人近くの子どもたちが登録をされていて、それに指導員が20人から30人となっていますが、こういった人数で子どもたちの見守りや指導をしていただくということです。

夏休みについては、高校生が時給882円で、アルバイト的なことで指導員をしているわけですが、今年は約50名の高校生が来てくれているということで、学校からの許可、了解を得て参加と聞いております。けれども、あくまでも高校生ですので、十分に目の届く中での中身になるかと思いますが、夏休み期間に一生懸命、頑張ってくれているという状況を聞いております。

課題として5点書かれています。1点目は、指導員数の確保が十分ではないということ。2点目は、学校との連携が十分ではない部分があるということ。3点目は、プールの使用がなかなかできないということがあり、ストレスの一因になっているということ。4点目は、保護者との連携、信頼関係の維持について、難しいケースがあるということ。5点目は、子どもの居住空間、活動場所が人数に比べて若干狭いということ。このような課題、悩みがあると聞いております。

現在のところ、大きな事故やけが等については、ないということではありますが、子どもへの指導、保護者の対応について、さまざまなトラブルや課題があると聞いております。

就労等により、子どもの居場所、安心・安全な場所の確保ということで、非常に重要な部署になっていると思います。

また、昨年度、実践報告をしなかったクラブが、本年度は実践報告をするということで、年度末等に報告会があるかと思いますが、その状況等もまた見ていただいたらよいと思いますし、家庭、また地域の一般の方々が、子どもたちへの指導を見よう見まねで始められたものが、さまざまな研修を重ねられ、学校教育に引けをとらないような内容の報告もありますので、さまざまな課題の中で、お世話になっている状況を御覧いただければ一番よいと思います。

(3)「地域未来塾」の取組(別紙)

3点目については、地域未来塾の取組についてですが、日程の一覧ができておりましたので、御覧ください。

桃映から大江までの9中学校、全ての学校で昨年度から始まりました。本年度の開講式の日時は、桃映が9月13日からとありますが、このような日程となっており、30回程度の教室が開かれるという段取りで、準備にかかっています。

指導していただくコーディネーターの方々については、校長退職者の塩見先生、岩瀧先生、大垣先生、衣川先生の4名の先生方にお世話になっております。

各学校の子どもたちに関わっていただく支援員の皆さんについては、学校教員退職者もあれば、地域の方々にお世話になっているということで、そこに書きましたような会場、日程等について、これから展開をされていくということでもあります。

進路を見据えて、学習意欲なり、学ぶ意欲を育てる場として、また、学校の授業とは違った雰囲気の中で、子どもたちの意欲を育てていく。心の教育の部分も含めての活動が始まるという予定でおります。

以上3点報告しましたが、御質問、御意見はありませんか。

全委員 特になし。

端野教育長 本日は決議事項がありませんので、報告・説明事項の教育長決裁による後援承認事項について説明をお願いします。

4 教育委員会 報告・説明事項

(1) 教育長決裁による後援承認事項について

由里教育総務課長補佐兼企画管理係長 ～資料に基づき報告～

No.33 京都府小学校教育研究会特別活動教育研究大会

No.34 第11回福知山市「未成年の主張」弁論大会

No.35 こども竜王戦福知山将棋大会

No.36 第47回音楽のつどい～みんなで楽しいXmas

No.37 第8回 FUKUGAKUオープンセミナー

端野教育長 No.33は、特別活動教育となっておりますが、教育というのは間違いということで、既に要項等が発送されており、研究会で準備されておりましたが、そのあたりについては、また連絡を入れるということです。後援承認について御質問や御意見がありましたらお願いします。

全委員 特になし。

5 閉会

端野教育長が閉会を宣言。